

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防犯対策事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	02	01	16	01	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課				
施策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	樋口 洋徳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	防犯灯を維持管理し、夜間の通行者の安全確保、路上等犯罪を減らし、安心して暮らせるまちづくりを推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市が維持管理する防犯灯の電気料金負担 自治会が維持管理する防犯灯への電気料金補助 			
事業開始から現在までの状況変化	自治会が設置し維持管理してきた防犯灯に対し市は設置費及び部品交換費並びに電気料金の一部に補助金を交付してきた。しかし、LED防犯灯一括整備・管理事業によりLEDに交換するとともに市へ移管してもらい、平成28年度からは電気料金の負担を含めた維持管理及び自治会要望による新規設置等を行っている。なお、デザイン灯等で市へ移管できなかった防犯灯を所有する自治会においては、継続して電気料金補助を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補助防犯灯数	127	105	117	灯	→→
②	補助対象自治会数	15	12	14	件	→→	
③	防犯灯電気料金	25,477,454	27,647,352	29,553,568	円	→→	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	防犯灯を適正に維持管理することにより、夜間の通行者の安全確保、路上等犯罪の抑止となり、市民の安心・安全につながる。		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		省電力・長寿命のLED防犯灯に交換したことにより、交換前に比べ電気料金は大幅に節減できた。自治会要望等による、新規防犯灯の設置灯数の増加、電気料金の値上がりにより、電気料金の支払額は増となっている。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		38,928,539	40,994,122	42,656,824			
事業費(b)(円)		28,631,039	30,926,122	32,768,824			
うち一般財源		28,631,039	30,926,122	32,768,824			
職員給与と費(c)(円)		10,297,500	10,068,000	9,888,000			
人役・職員(人)		1.50	1.50	1.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	防犯灯の維持管理、新規設置等には自治会の協力が不可欠であることから、分かりやすい手続きをご案内するようにする。	③取組における課題(Check)	1年で交代となる自治会も多く、防犯灯手続きに困惑する場合がある。
②H30に実施した取組(Do)	防犯灯の設置等手続き方法について、マニュアル作成し自治会へ配布した。ホームページからも様式等ダウンロードできるようにした。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	自治会長が交代されても防犯灯設置等手続きが分かるよう、引き続き分かりやすいマニュアル作成に努める。